

令和4年度

2022.5.17

中根橋保育園年長児保護者会

～保護者の皆様からの質問に答えて～

中根橋小学校 校長

今日は園長先生に年長児の保護者会にお招きをいただきました。

貴重なお時間を頂戴いたしますので、有意義なお話ができたらと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

私は本年度から中根橋小学校の校長として着任しました。担任時代は5回ほど1年生の担任をしました。その頃と比べて子供たちは変わっていないと思います。しかし、子供たちを取り巻く環境は大きく変わったと思っています。当時の保護者の困りごとはテレビゲームでした。今は、ゲームはもちろん、YouTubeが多いです。インターネットやスマホで広がる仮想空間が社会を席巻しています。本当の世界と仮想の世界の境があいまいになってきています。小さな子供たちは、ゲームで人を倒してもリセットすれば生き返ると思うようです。人の痛みや悲しさ、つらさが実際のものとして捉えにくい社会になってはいないでしょうか。

しかし、1年生の純粋さ可愛らしさは変わっていないと思います。この黄金の6歳を大切に育てたいです。さて、保育園に来るために、1年生の担任から情報を収集しました。

まず、1年生にとって、今までとの一番の違いは「先生に聞きたいことがあってもすぐに対応してもらえない。」と担任は語っていました。おおよそひとクラスは30人くらいです。保育園や幼稚園のクラスの規模からすれば2倍くらいでしょうか。担任は1人です。授業や他の子の対応があり、先生にすぐに話を聞いてもらえることは難しいのです。ご家庭だとお母さんやお父さんがすぐにお話を聞いてくださいますが、学校ではなかなかそういうわけにはいきません。そこが1年生にとってストレスです。

しかし、我慢ができることは、人生を成功に導く力になるとのアメリカでの実験もあります。つまり我慢は一つの才能です。我慢をすることによって、今は得ることができなくても、後から大きなものを得られることがあることを大人は知っています。

先を見越して、今自分がどうすればいいのか考えて行動できる力と我慢は結びついています。しかし、我慢ばかりでは解決はできません。ピンチに対して、どうすればよいかを自分で考える、お友達に聞く、助けてもらうことも大事です。人とかかわる力、コミュニケーション力が必要となるわけです。

あと10か月もすれば皆様の可愛いお子様もピカピカの一年生です。もうランドセルをどうしようかとご家庭で話題にしていることでしょう。今日はご一緒にそのあたりをお話させていただければと思っております。先日、園長先生から頂いた皆様方の質問に話を移していきたいと思えます。

Q: 「小学校に入って初めに子供がつまずきやすいことや困りごとがあったら教えてください。」

A: 子供にとって小学校は新しい環境です。大人もそうですが新しい環境はとてもストレスがたまるところです。まずはそのことを知っておいてほしいと思えます。最初から全てができるようになるわけではありません。小学校ではひとつずつ出来るようにカリキュラムに沿って段階的に習得をさせています。そのベースとなるものがご家庭でのしつけであり、基本的な生活習慣です。子供も大人も人間です。人間にとっ

て大切なものはまず食べること、寝ることです。そして遊ぶことです。

1年生の先生に聞くと、給食で器を持たないで食べる子供もいるそうです。姿勢が悪くなります。器を手で持って食べるようにおうちでも心がけて頂けると助かります。次は睡眠です。子供の脳は睡眠時に成長します。よく「寝る子は育つと」いいます。9~10時間の睡眠が1年生には必要です。そのために夜8時には就寝する。遅くても9時には寝て欲しいと思っています。睡眠が足りないと頭が働きませんし、機嫌も悪くなります。それから、体を使って遊ぶことです。遊びは子供にとっての運動です。鉄棒、雲てい、ブランコなど体が揺れる遊びは、バランス感覚が育ちます。この感覚が弱いと動きがぎこちなく、上手に体を使うことが難しくなります。また、砂場遊びは、物の構造、仕組みを体感でき、直観力を養えると思えます。それが算数の学習につながっていきます。学びは頭だけではなく体が大切な役目を果たしていると思えます。

Q: 「小学生になるまでにできていた方がよいことはありますか。」

A: 例えばひらがなで名前の記入などです。まずは規則正しい生活です。当たり前のことが当たり前にできることです。ひら

がなは学校で簡単な文字からゆっくりと丁寧
に指導していきます。求めるとしたらひ
らがなで自分の名前がかけて読めるその程
度で結構です。次は物の管理です。自分の
持ち物を管理できないと学習に支障をきた
します。そのため整理整頓ができるように
なって欲しいと思います。

大人もそうですが持ち物が多いと混乱し
てしまいます。持ち物はできるだけ少な
く、そしてシンプルにした方がよいと思
います。その一例が筆箱です。筆箱はシ
ンプルな単色のもので箱型のものがよい
です。筆箱がおもちゃになってしまわな
いように、中身もスッキリとさせたいも
のです。中身は鉛筆 5 本、赤鉛筆 1 本、
消しゴムを一つです。

それから担任の困りごとの 2 番目とし
ては、着替えです。自分で衣服の着脱が
できて、洋服をたたんで体育袋に入れ
る、その一連の作業ができるようにし
てほしいと思っています

Q: 小学校入学時までに出来るように
して欲しいことを知りたいです。

A: やはり自分で自分の気持ちを伝え
られるようになることです。トイレに
行きたい、お腹が痛いなど言えないと
つらいと思います。

Q: パソコンの授業について教えてください。

A: 日本中の小中学生は一人一台のタ
ブレットパソコンを持っています。自治
体によって機械は違います。サーフェ
スであったり、iPad などですが、板
橋区は chrome book です。Chrome
book は wi-fi 環境が必須です。学
校ではどの教室でも wi-fi が使え
るようになっています。

Chromebook は立ち上がり
が早いです。Chromebook を
使うために特段ご家庭で用意とかは
必要ありません。1 年生には 1 年
生に向けた初歩の初歩から指導して
いきますから大丈夫です。

Q: 給食について教えてください。

給食の配膳後、食べる時間は約 20
分あります。しかし、食に興味がない
子や好き嫌いがある子にとっては、30
分あっても同じような状況ですので、
決して 20 分が少ないとはいえません。
ご家庭でも 20 分を目安に食卓を囲
んでください。

紙パックの牛乳は、だんだん上手に
飲めるようになっています。少しづ
つ慣れるようにしていきますのでご
安心ください。